



【先週 2月17日～2月23日の外食の出来事】

■テンアライド、第3四半期(H30年4月～12月)の連結業績 減収減益

テンアライドの平成31年3月期 第3四半期の連結業績は売上高115億200万円(対前年同期比1.0%減)、経常利益1億3500万円(同55.0%減)、四半期純利益1億8600万円(同27.6%減)であった。

■マクドナルド、2018年12月期(2018年1月～12月)の連結業績 増収増益

日本マクドナルドの2018年12月期 通期の連結業績は売上高2722億5700万円(対前年同期比7.3%増)、経常利益256億4400万円(同30.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益219億3900万円(同8.7%減)であった。

■三光マーケ、第2Qも赤字幅広がる。団体忘年会取れず。

株式会社三光マーケティングフーズが、2019年6月期第2Q(2018年7～12月)実績を発表した。売上高54億51百万円、15.2%減。営業赤字5億24百万円、前年も赤字1億79百万円。減収減益が続いている。

■APカンパニー、赤字幅縮小。販売費及び一般管理費を削減。

株式会社エー・ピーカンパニーの2019年3月期第3Q(2018年4～12月)実績は売上高183億37百万円、6.4%減。営業赤字1億26百万円、前年は黒字4億1百万円。第2Qの赤字3億32百万円から、第3Qで盛り返した。

■グローバルダイニング、3年ぶり黒字に。インバウンドの権八は9%増。

株式会社グローバルダイニングの2018年12月通期決算は売上高99億61百万円、1.5%増。経常利益54百万円、最終利益4百万円、前年は赤字2億22百万円。2016年度から赤字が続いていたが、黒字に転換した。

■1月の訪日外客数、前年比7.5%増の268万9千人と同月として過去最高に

日本政府観光局(JNTO)は、平成31年1月度の訪日外客数の推計値を発表。前年同月比7.5%増の268万9千人と、昨年1月の250万1千人を約18万人上回り、1月として過去最高を記録した。

■フジオフードシステム、平成30年12月期の連結業績 増収減益

フジオフードシステムの平成30年12月期 通期の連結業績は売上高361億4500万円(対前年同期比0.6%増)、経常利益21億8900万円(同12.9%減)、当期純利益9億1100万円(同35.0%減)であった。

■木曾路、第3四半期(H30年4月～12月)の業績 増収増益

木曾路の平成31年3月期 第3四半期の業績は売上高326億300万円(対前年同期比0.8%増)、経常利益11億4500万円(同11.4%増)、四半期純利益7億5200万円(同24.5%増)と増収増益を確保した。

■ゼンショー、「すき家」「なか卯」でUber Eats開始。公園へもデリバリー。

株式会社ゼンショーホールディングスとUber Japan 株式会社は、「すき家」および「なか卯」でも、「Uber Eats」でのデリバリーを始める。外出先や公園なども含め、好きな時に好きな場所へデリバリーすることが可能となる。